

大阪観光局 平成28年度事業計画(案)概要

2016.2.9
 トップ会議資料
 大阪観光局

基本的な考え方

- これまでの経験を活かし、大阪の観光誘致の中核的な役割を担い、大阪・関西の経済活性化に寄与する。
- 従来の事業を踏襲しながら、並行して「日本版DMO」をめざし、マーケティングやコーディネート機能等を強化し、併せて自主財源の確保に向けた連携を強化。

3つの
 コンセプト

24時間観光都市「大阪」

関西・西日本観光のハブ「大阪」

多様性あふれる街「大阪」

DMO事業実施にあたっては

- ・ 組織体制の見直し
- ・ 専門的人材の配置

を行い、並行してプロパー職員の人材育成を進める

既存事業

341百万円

DMO事業

280百万円

- 観光プロモーション【74百万円】**
- 【海外】（50百万円）
 - ・ メディアファムトリップ
 - ・ トレードファムトリップ
 - ・ 教育旅行誘致
 - ・ 関西広域観光の推進
 - 【国内】（6百万円）
 - ・ アクセス関連事業者との連携PR
 - ・ 大阪城、天神祭など既存コンテンツの活用
 - ・ 府内市町村と連携しての全体の魅力、認知度向上
 - 【フィルムコミッション】（18百万円）
 - ・ 「あさが来た」「真田丸」を契機とした誘客
- MICE誘致【23百万円】**
- ・ 関連事業者との連携（アライアンス）強化
 - ・ ディスティネーション・ショーケースの実施
 - ・ コンベンション誘致、支援
 - ・ インセンティブツアー誘致、支援
- 魅力創造・受入環境整備【212百万円】**
- ・ Osaka Free Wi-Fiの拡充
 - ・ 観光案内所の運営・管理
 - ・ 第三者の目（学生など）から見た大阪の魅力発掘
 - ・ 「大阪周遊パス」発行、販路拡大

マーケティングに基づき、きめ細かい市場展開



- 戦略的マーケティング【165百万円】**
- 【リサーチ】（99百万円）
 - ・ 調査事業の充実
 - ・ ビッグデータの活用
 - ・ データの分析能力の強化
 - ・ 関連団体との情報共有
 - 【情報発信】（66百万円）
 - ・ 海外広報の強化
 - ・ 海外駐在員の配置
 - ・ ニューツーリズム推進
- 観光プロモーション【15百万円】**
- ・ (海外) 新市場
 - ・ (国内) 首都圏集中
- MICE誘致【36百万円】**
- ・ MICE商品開発
 - ・ 専門人材配置
 - ・ 他分野と連携した会議誘致
- 安全・安心の強化【45百万円】**
- ・ 24時間多言語コールセンターの検討・設置
 - ・ 観光案内所の機能強化
- 自主財源確保【19百万円】**
- ・ 新規事業（交通バスなど）の検討
 - ・ 賛助会員拡大
 - ・ オフィシャルスポンサー制度、ライセンス契約など
- 発信力・認知度向上【32百万円】**
- ・ Webページのリニューアル
 - ・ SNS、メールマガジン等を活用した情報発信
 - ・ 観光大使、特使制度の活用
 - ・ プロモーションツールの作成
 - ・ 外部媒体の有効活用、観光局情報の発信
- 長期的課題**
- ・ IR構想の推進
 - ・ 2019～2021年の大規模国際スポーツイベントに向けた取り組み